

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-511581(P2007-511581A)

【公表日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2006-540430(P2006-540430)

【国際特許分類】

C 07 C 231/12 (2006.01)

C 07 C 233/25 (2006.01)

A 61 K 31/167 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

【F I】

C 07 C 231/12

C 07 C 233/25

A 61 K 31/167

A 61 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月24日(2007.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

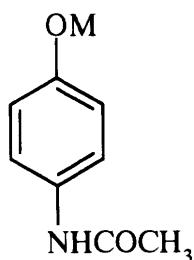
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式(I I) :

【化1】



(II)

[式中、Mは水素原子であるか、またはアルカリもしくはアルカリ土類金属のカチオン、オニウムカチオンである]

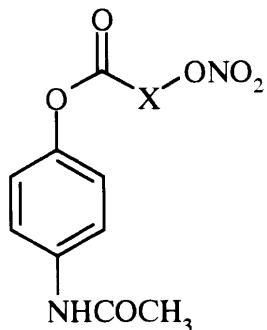
の化合物を、次式(I I I) :



[ここで、Yは O H 、 C l 、 O COOR 、 $\text{O CO-X-C}\equiv\text{O Y}$ (ここで、Rは C_1-C_6 アルキルである)であり、Xは下記で定義したとおりである]

の化合物と反応させることからなる、次式(I) :

【化2】



[式中、Xは、直鎖または分枝鎖状のC₁-C₂₀-アルキレン鎖である]
の製造方法。

【請求項2】

Xが、直鎖または分枝鎖状のC₁-C₆アルキレン鎖である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

Xがプロピレン鎖である請求項1に記載の方法。

【請求項4】

YがOHであり、Mが水素原子である請求項1～3のいずれか一つに記載の方法。

【請求項5】

反応が、双極性非プロトン性溶媒中、ジシクロヘキシリカルボジイミド(DCC)；またはDCCおよびアミノピリジン；アンバーリスト-15；ジエチルアゾジカルボキシレートおよびトリフェニルホスフィンから選択される脱水剤の存在下に行なわれる請求項4に記載の方法。

【請求項6】

MがNaまたはKであり、YがClである請求項1～3のいずれか一つに記載の方法。

【請求項7】

反応が、テトラヒドロフラン、ジオキサン、tert-ブチルメチルエーテルから選択される双極性非プロトン性溶媒中で行なわれる請求項6に記載の方法。

【請求項8】

Mがオニウムカチオンであり、YがClである請求項1～3のいずれか一つに記載の方法。

【請求項9】

オニウムカチオンが、テトラアルキルアンモニウムまたはテトラアルキルホスホニウムから選択され、かつ反応が、トルエン、クロロベンゼン、テトラヒドロフラン、tert-ブチルメチルエーテルから選択される非プロトン性溶媒中で行なわれる請求項8に記載の方法。